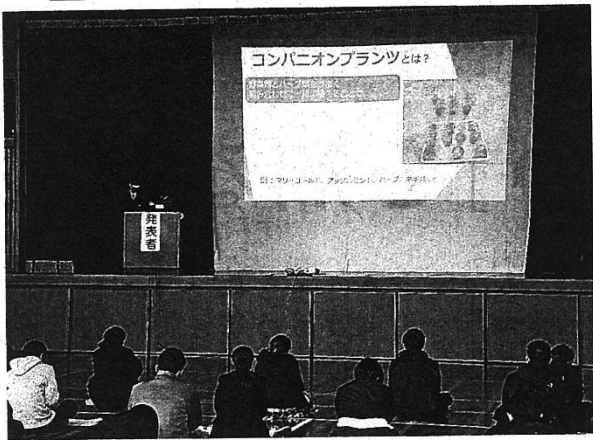


3年生が課題研究の成果を  
発表した。丹波篠山市福住



## 酒かす・コオロギ お菓子に変身

### 篠山東雲高は研究者

#### テーマ様々 成果発表

丹波篠山市福住の県立篠山東雲高校で18日、約25人の3年生が1年間取り組んだ課題研究の成果を発表する会が開かれた。人工授粉によるスイカ栽培や獣害対策など、様々なテーマの発表があった。

同校には「アグリプロダクト」「フード・インステイテュート」「アグリサイエンス」の三つの類型がある。生徒は各類型に分か

れ、栽培や飼育、食品開発を学び、課題研究などに取り組んでいる。この日は約20の研究発表があった。

さんは、同校と地元酒造会社による、同校で栽培した米を用いた日本酒づくりで出る酒かすに着目。廃棄される酒かすをなくそうと、ポーロやかるかんなどの酒かすを使った菓子を開発し好評だったこと

を報告した。

さんは「昆虫食を世界に」と題し、コオロギを材料にしたお菓子を開発したことを発表。コオロギを使ったレシピコンテス

トに応募してスポンサー賞を受けたといい、「試食してくれた人がおいしいと言ってくれてうれしかった」などと述べた。

(前田智)

朝日新聞

2022年1月19日